



未来へ渡そう われらのタスキ

夜明けの星

団 NEWS No.280

日本ボーイスカウト 川崎第46団

広報委員会発行

特集1：日本ジャンボリー報告

第17回日本スカウトジャンボリー
(17th NIPPON SCOUT JAMBOREE:17NSJ)
ローバー隊長 北村 岳人



記録的な速さで梅雨が明けた今年の夏は、連日の猛暑と台風が連続して日本に上陸して大きな災害にも見舞われました。

こうした中、日本のスカウト連盟創立100周年となる2022

年に向けて、国内外からの約14,000人のスカウトとスタッフが集まり、第17回日本スカウトジャンボリーが8月4日から10日まで、石川県珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」で開催されました。

当地は、第14回日本ジャンボリーの会場としても使用され、世界農業遺産に認定された能登の地で、未来への冒険を行うことをテーマに、キャンプ生活を行いながら、様々なプログラムに挑戦しました。



当団からは、ベンチャースカウトの伊藤スカウトと岩崎スカウトが神奈川連盟の第3隊派遣隊の一員として参加（コアメンバーは43団）しました。北村は大会本部要員として、会場運営部会場管理班に所属しました。伊藤・岩崎スカウトの感想は後述に続きます。

さて、私は全国6つのブロックに分け、参加隊が野営生活を行うサブキャンプと会場内外のプログラムエリアを管理するのが大きなミッションでした。そのため、大会スタッフが入場する8月2日より2日早い7月31日に会場入りし、2日昼までに、会場と私有地の境界や期間中スカウトが行き来するトイレ、シャワー（温水はなく水です）、サブキャンプでの借用資器材の員数確認、大会各運営本部に貸し出す資器材の振り分け作業を完了するのが大仕事となりました。

私はドームテントを持参し、久しぶりの長期キャンプを経験できました。陽が上がるとテント内で寝ていられず、毎朝5時半過ぎには起床し、夜は生田では見られない満点の星空（こんなに沢山、星ってあるの？）、そんな大自然と触れ合えた日々でした。

日中はとても暑く、日焼けしてしまい、暑さの中でも清々しい汗をたくさんかいて、派遣隊へのサービスができたものと思っています。仕事上の都合で、途中で後ろ髪を引かれる思いで帰宅しましたが、貴重な経験をさせてもらいました。



制服を着用したのは、部の集合写真を撮った時だけで、体力的にも厳しい日課が続きましたが、スカウトの明るい表情を多く見ることができ、全国にいる指導者仲間と再会できたことも財産となりました。

46団出身で、広島県に引越した江本さん（現在は、呉12団所属。広島県連盟事務局員として、派遣団本部員として参加）とも再会し、豪雨災害のことや息子の話ができました。



さて、次回の18NSJは東京で開催されることが決定されました。現在のカブ世代が中心に参加できます。

最後に、今回の奉仕に際し、団から多くの御支援を頂きました。この場をお借りし、感謝申し上げます。

8月7日の夜に開催した「ジャンボリー大集会」には、皇太子殿下がご臨席され、多くのスカウトに対し、激励のお言葉を述べられました。

<http://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/36#127>

皇太子殿下の日程

<http://www.kunaicho.go.jp/page/gonittei/show/2?quarter=201803>

日本スカウトジャンボリーの様子は、日本連盟ホームページなど SNS などをご覧ください。

ボーイスカウト日本連盟 <http://www.scout.or.jp/>

Facebook <http://www.facebook.com/scout.or.jp>

Twitter <https://twitter.com/#!/ScoutingJapan>

Youtube

<https://www.youtube.com/user/ScoutingJapan>

Instagram

https://www.instagram.com/scout_association_of_japan/



VS 隊 伊藤 初美

8月上旬に石川県珠洲市で開催された17NSJに参加しました。今年は暑く、珠洲市は湿度が高かったため昼間は猛暑でした。夜は涼しく、満天の星空が見られて感動しました。

46団は参加人数が少なかったため43団の中に入り活動しました。当日はインドネシアのスカウトも一緒に活動しました。初めは不安でしたがすぐに打ち解けられて楽しむことが出来ました。

今回は日本一の班を決めるプログラムがあり、その中のコンパスゲームと火おこしゲームに参加しました。コンパスゲームは参加班が少なかったためか、4位に入賞しました。他にも透明な海で海水浴をしたり、サイトでかき氷を作って食べたり、水風船で遊んだり、初めてのセパタクローもやりました。

様々な経験が短期間でできた素晴らしいジャンボリーでした。皆さんも1度は行ってみてください。

VS 隊 岩崎 俊彰

ただの地元では経験できないキャンプです。

日にちは聞くだけでは長そうに見えますがそれでも退屈しないプログラムの数々です。むしろ短く感じます。

今回は43団と一緒にきましたが、地域交流にもなりとても楽しいです。また、そこでしか貰えない記念のグッズが沢山あり少し頑張れば、各県の珍しいものを交換で貰えます。

今度の100周年東京都でのジャンボリーは今からでも楽しみです。



特集2：各隊夏キャンプ

BS 隊 夏キャンプの思い出

BS 隊は8月10日～15日まで5泊6日の長期キャンプに行ってきました。場所は相模湖休養村キャンプ場。今号では参加スカウトの思い出を記事にしてみたので皆様お楽しみください。

質問内容

- ①夏キャンプをひとことで言うと
- ②嬉しかったこと
- ③楽しかったこと
- ④つらかったこと
- ⑤またやりたいプログラム

Fox 班

班長 1級 仲井飛祐

- ①良い思い出
- ②最優秀スカウトになれた事、皆協力してくれた事
- ③全体的に楽しかったが、中でも魚掴みが楽しかった
- ④朝起きること
- ⑤料理コンテスト

次長 菊 原田愛莉

- ①鍛える
- ②シャワーがあった
- ③料理コンテスト
- ④アンモニア臭の立ち込めるボットン便所
- ⑤料理コンテスト

2級 星野誠海

- ①長いキャンプ
- ②魚をたくさん取った
- ③魚のつかみ取り
- ④野帳
- ⑤魚のつかみ取り

2級 風呂田結

- ①やっぱり5泊6日だったので疲れました。でも、たくさんアクティビティがあって楽しかったです！
- ②最終日にキャンプの優秀班を取れたことです。
- ③5日目のキャンプファイヤーです！流行りのゲームやその日にやったスカウトソングなどいろんなことができて楽しかったです！
- ④辛かったというよりも雷雨があった時は大変でした。でもそのあとみんなでご飯が食われて楽しかったです！
- ⑤野帳です！今回全然出来なかったのが、今度ちゃんとしたハイキングを計画してやりたいです。



Swallows 班

班長 2級 木幡響

- ①思い出になった。
- ②1級のサインがいっぱいもらえた
- ③キャンプファイヤー
- ④5泊6日
- ⑤スカウトスキルゲーム

次長 1級 原田莉子

- ①1番長いキャンプ。チャンスたくさん！！
- ②個人優秀賞 料理コンテストのクック賞と総合優勝
- ③キャンプファイア
- ④朝の早起き
- ⑤料理コンテスト

2級 伊藤帆孝

- ①ボーイスカウトの中間地点
- ②自分の能力が上がった
- ③キャンプファイヤー
- ④ゴキブリが食器に入った
- ⑤スカウトスキルゲーム

2級 黒木大地

- ①大雨が嫌だった
- ②優秀個人賞が取れたこと
- ③キャンプファイア
- ④虫
- ⑤釣り

2級 伊東夢奏

- ①成長できる最高の行事
- ②2日目の優秀スカウト賞をとれたこと。
- ③キャンプファイヤーのスタンツ
- ④眠くて辛い中のお皿洗いと雷
- ⑤花火をもう少し時間に余裕をもってやりたいです！

CS 隊夏キャンプ (2018年8月10日～12日)

《1日目(2018年8月10日)》

今年のキャンプ地は、「山梨県 調布市八ヶ岳少年自然の家」で、清里にあります。キャンプテーマは、「46生田地球防衛軍」です。さてさて、どんなキャンプになるのでしょうか？

まずは、出発に向けての集合です。集合は、07:00 五反田神社近くの三田第3公園です。みんな元気に集合です。出発式を行い、みんなで記念写真です。



今回は、乗用車に分乗して移動です。お盆の時期で、途中、休憩したサービスエリアは少し待ちましたが何とか入場できました。暑さ対策で、ミストがありました。休憩して、さあ、清里に出発！

途中何度か渋滞がありましたが、ほぼ時刻通りに最初の目的地、「滝沢牧場」に到着です。まずは、腹ごしらえ。ご飯の歌を歌って、いただきましょう。



ご飯の後、少し休憩して、午後のプログラム開始。防衛軍の隊員になるための試練、アスレチックで体力テストです。



うまくバランスをとってクリアです。無事、みんな隊員に任命されました。隊員諸君、この周辺に、宇宙海賊イーチャとフーミナオが侵入したとの情報が入った。地球の防衛は任せたぞ！

隊員の初任務は、いつもおいしい牛乳を出してくれる牛さんの乳しぼりです。え？地球防衛と関係あるのか、ですって？あるんです。防衛するのは人間だけではないのですから(苦しい。。)。

滝沢牧場の看板牛(たぶん)のあさひちゃん(ホルスタイン)から牛乳をいただきます。しゃがんで絞りますが、迫力あります。



隊員諸君、怖がらずに絞りました。任務完了。滝沢牧場を後にし、お世話になる自然の家へ移動です。



到着後、制服に着替えて開所式です。職員の方にも挨拶していただきました。



さて、宿舎での任務です。夜のプログラムに使うランタンを作ります。これがないと、宇宙海賊の手掛かりが探せないぞ。



屋外で探索のはずが(雨天でした)、宇宙海賊が体育館にいるとの緊急情報が。。残念ながら、逃走した後の様子、でも、よく観察すると手掛かりを残していたようです。



よし、明日は、この手掛かりをもとに搜索任務だ。

《2日目(2018年8月11日)》

キャンプでの朝一番は、健康チェック、点検から開始です。叱っているわけではありませんよ、健康チェックですよ。



朝のセレモニー、朝食と、あわただしくも整然と準備します。



2日目の任務は、宇宙海賊の手掛かりを求めて捜索任務(ハイキング)です。RS 隊から江上隊員が応援に駆けつけてくれました。よろしくお願ひします。清泉寮ハイキングコースの道なき道をかき分けて、昨晩の手掛かりを基に、宇宙海賊の情報を探します。



優秀な隊員の活躍により情報をゲットできたようです。捜索任務が終わり、隊員たちのランチタイムです。食べ終わったら、次の任務が待っている。



次の任務は、宇宙観測の施設「国立天文台 野辺山宇宙電波観測所」別名「46生田防衛軍 野辺山基地」の視察です。ここは、宇宙からの電波を様々なアンテナで受信して研究しているところです。ちなみに受信専用です。ビームは出ません。異常ないか見て回ります。



異常はなかったようです。メインのアンテナは、直径45メートルあります。本格的な観測は、11月から(空気が澄んでから)のため、今はメンテナンス中です。えっ、そんなことで地球の安全は守れるのか、ですか。安心してください。他にもアンテナがたくさんありフォローしていますので、大丈夫です。2日目の任務もほぼ終わり、夕食の時間です。とてもボリュームがあり、隊員たちにはちょっと多かったかも。

食事の後は、最後の任務、宇宙海賊の確保のためにキャンプファイヤーでおびき寄せます。隊員たちは、準備万端のようです。宇宙海賊イーチャとフーミナオは、現れるでしょうか。



ファイヤーが始まってしばらくすると、イーチャ(左)とフーミナオ(右)が現れました。

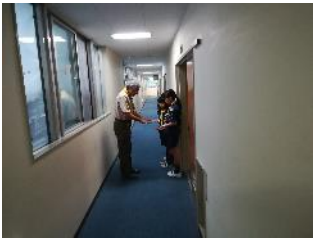


彼らは地球に来た時に宇宙船の部品を落としたため、探していたようです。隊員たちが集めたのはその部品でした。心優しい隊員は、海賊たちに侵略しない誓いを立ててもらい、部品を返して宇宙に帰すことにしました。これで無事任務完了です。あとは、ファイヤーを楽しんで、スイカをいただきましょう。反省会を開いておやすみなさい。



《3日目最終日(2018年8月12日)》

キャンプ最終日。あっという間です。最後の任務、撤収です。点検、朝食、セレモニー、いつものメニューをこなします。



生田への帰路、途中の公園(清里の森)でレクリエーションです。任務を忘れて、みんなで楽しみました。



お盆の真っ最中のため、渋滞もありましたが、無事、三田第4公園に到着です。恒例の集合写真をお迎えの保護者の方々と一緒に撮りました。



それでは、仲良しの輪をして、解散！

＜最後に＞

ご協力いただいたCS隊保護者の皆様、このキャンプを企画準備して頂いた副長の皆様、恒例のスイカを差し入れくださった三須VS副長、ありがとうございました。

事故なく、楽しくキャンプを終えることができました。

— 終 —

BVS 隊夏キャンプ (2018年8月10日～12日)

《1日目(2018年8月10日)》

今年のキャンプは、CS隊との合同で行いました。キャンプ地は清里、野辺山地域の調布市少年自然の家です。

テーマは「46 生田地球防衛軍」三田第三公園から、元気に出発。



滝沢牧場に到着。おひるごはん。いただきます。



46 生田地球防衛軍、隊員になるためのミッション、スタートです。アスレチックで、訓練開始です。色んな器具にチャレンジ。段々とバランスがとれるようになりました。



試練を乗り越え、見事、隊員に任命。バッジと任命証が授与されました。



牛の乳しぼりに、係員さんの指示のもと挑戦。最初はこわごわでしたが、みんな上手にできました。「あたたかった」です。



ソフトクリーム、おいしくいただきました。



宿舎に到着。開所式です。



宇宙海賊搜索のためのランタンをつくります。みんな、アイデアを駆使して、つくりあげました



パチンコゲームも盛り上がりました。



雨のため、残念ながら星空観察は出来ず。明日のミッションのための、ヒントさがしに出かけました。



《2日目(2018年8月11日)》

二日目のミッション。宇宙海賊の落とし物探索の開始です。



カブスカウトと一緒に、清泉寮のハイキングコースのぬかるんだ道を慎重に進んでいきます。



大きな岩石や滝を横目に、宇宙海賊グッズをつぎつぎと発見。



かなりハードな道でしたが、みんな無事走破。手にいれた手掛かりが役にたちそうです。

午後は、野辺山宇宙観測所見学です。
大きなアンテナにみんなびっくりです。



夜は、待望のキャンプファイアー。
手に入れたグッズをもとに宇宙人と交流。
一緒にゲームをし、楽しいひと時をすごしました。



ビーバー隊のスタントは、宇宙人ダンスです。



ミッションを見事クリアし、小枝章もゲット。
激励の拍手、いっぱいもらいました。



三田第四公園に無事到着。お疲れさまでした。

カブ隊の皆さんや、ご父母のご協力のもと、けがもなく、無事キャンプをおえることができました。
本当にありがとうございます。
この体験を今後の活動に生かしていきたいと思ひます。
よろしくお願ひいたします。

《3日目最終日(2018年8月12日)》

— 終 —

あっという間のキャンプ最終日。
キャンプの思い出を絵日記に。
お世話になったお部屋をお掃除。



清里の森でレクリエーション。
まだまだ体力、有り余っています。



編集後記

今号は日本ジャンボリー・夏キャンプを特集しました。
楽しい雰囲気伝わったと思います。

〈広報委員〉
江川 豊、荒川 泰一

川崎46団のHP
<http://www.bsk46.com/>

